【ワークシート：DP・CPの対応関係】

経済学　学士教育プログラム

学習教育目標【A】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）経済学を中心に社会科学についての幅広い知識を持ち、現代社会の諸問題を総合的・多角的に捉える能力を備えた人材の育成

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【A】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），科目間の順次性・関連性，科目名＞

１年次には経済数学ならびに、ミクロ経済学、２年次には基礎統計学ならびにマクロ経済学を必修科目として学ぶことにより、３年次以降、経済学の専門的なコースワークを行うための土台となる知識や手法を学習する。

一方で共通教育科目として、現代経済のしくみ、現代経済の諸問題、経済の歴史を複数の教官が担当しており、これらの科目を通して入門者が容易に経済学の世界に入っていくことが出来る。

そして自由選択科目・選択必修科目として経済学概論、日本経済史、時事経済論Ⅰ・Ⅱ、ゲーム理論、社会経済史Ⅰ・Ⅱ、西洋経済史を履修することで現代社会の諸問題を総合的・多角的に学べるようカリキュラムが構成されている。

さらに、実践経済学では沖縄県内で活躍する経済人による講義が行われ、経済学の実践が体感できる。また、3年次に「経済学検定」の受験を義務付けており、検定試験を通じて基礎学力の到達度や全国レベルでの位置づけを確認することができる。

（3）学習教育目標【A】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	経済110	経済数学	4	1年次	前期	講義
必修（専門）	経済111	基礎統計学	4	2年次	前期/後期	講義
必修（専門）	経済200	ミクロ経済学	4	1年次	後期	講義
必修（専門）	経済201	マクロ経済学	4	2年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	経済189	社会経済史Ⅰ	2	2～4年次	前期	講義
選択必修（専門）	経済190	社会経済史Ⅱ	2	2～4年次	後期	講義
選択必修（専門）	経済191	西洋経済史	4	2～4年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	経済390	経済動学	4	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	経済192	日本経済史	4	2～4年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済202	経済学概論	2	1～2年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済221	実践経済学	2	1～4年次	前期/後期	講義
自由選択（共通）	社21	現代経済のしくみ	2	1～4年次	前期/後期	講義
自由選択（共通）	社28	現代経済の諸問題	2	1～4年次	前期/後期	講義
自由選択（共通）	社22	経済の歴史	2	1～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	経済302	時事経済論Ⅰ	2	2～4年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済303	時事経済論Ⅱ	2	2～4年次	後期	講義
自由選択（専門）	経済309	ゲーム理論	2	2～4年次	前期	講義

初年次 ↓ 高年次

合計単位数　48

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

経済学　学士教育プログラム

学習教育目標【B】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【B】

（2）情報化社会におけるツールとして情報を自在に駆使できる能力や、社会の様々な場面に対応できるコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【B】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

1年次の必修科目として基礎演習Ⅰ・Ⅱでパソコン技術および論文作成技術を習得する。そして、情報処理演習を通じて情報ツールを使いこなす能力を習得する。1・2年次の必修科目を通じてパソコンを用いた情報教育や論文の作成方法、経済学の基礎教育が体系的に習得でき、応用科目にスムーズに移行できるようカリキュラムが工夫されている。

（3）学習教育目標【B】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	経済001	基礎演習Ⅰ	2	1年次	前期	演習
必修（専門）	経済002	基礎演習Ⅱ	2	1年次	後期	演習
自由選択（共通）	情01	情報科学演習	2	2～4年次	前期	演習
自由選択（専門）	経済003	情報処理実習Ⅰ	2	2～4年次	前期	演習
自由選択（専門）	経済004	情報処理実習Ⅱ	2	2～4年次	後期	演習
自由選択（専門）	経済101	外書講読Ⅰ	2	1～4年次	前期/後期	演習
自由選択（専門）	経済102	外書講読Ⅱ	2	2～4年次	後期	演習
自由選択（専門）	経済373	金融政策論	2	2～4年次	後期	演習

合計単位数　16

初年次 → 高年次

【ワークシート：DP・CPの対応関係】

経済学　学士教育プログラム

学習教育目標【C】について

ディプロマ・ポリシー（DP）

（1）学習教育目標【C】

（3）社会科学の基礎力を応用して地域社会が抱える問題を見出し、その解決策を提案できるような有為な人材の育成

⇔

カリキュラム・ポリシー（CP）

（2）学習教育目標【C】を達成するための取組
＜授業の構成（教育内容・方法），授業間の関連性，科目名＞

２年次以降は、経済学の基礎知識を土台として、より広い地域社会が抱える様々な問題点を理解するべく、応用科目を履修していく。計量経済学、財政学、金融論、労働経済学、国際経済学などバラエティに富んだ科目を選択して履修することで、それぞれの分野での問題点を見出し、解決策を提案できるような能力の育成に努める。
そして3年次以降は必修科目として経済学演習Ⅰ・Ⅱ（ゼミ）を履修することで、より専門性を深めるとともに、卒業研究課題を通じて自主的な問題提起とその解決法の提起ができるような能力を培っていく。

（3）学習教育目標【C】を達成するために履修する科目一覧

区分（選択式）	科目番号	科目名または領域名	単位	受講年次（選択式）	学期（選択式）	授業形態（選択式）
必修（専門）	経済300	経済学演習Ⅰ	4	3年次	通年	演習
必修（専門）	経済400	経済学演習Ⅱ	4	4年次	通年	演習
選択必修（専門）	経済320	経済政策	4	2～4年次	前期	講義
選択必修（専門）	経済331	開発経済学	2	2～4年次	前期	講義
選択必修（専門）	経済334	環境経済学	2	2～4年次	前期	講義
選択必修（専門）	経済340	国際経済学	2	2～4年次	前期	講義
選択必修（専門）	経済341	国際マクロ経済学	2	2～4年次	後期	講義
選択必修（専門）	経済360	財政学	4	2～4年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	経済361	地方財政論	2	2～4年次	前期/後期	講義
選択必修（専門）	経済370	金融と経済Ⅰ	2	2～4年次	前期	講義
選択必修（専門）	経済371	金融と経済Ⅱ	2	2～4年次	後期	講義
選択必修（専門）	経済384	労働経済学Ⅰ	2	2～4年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済193	沖縄社会経済史	4	2～4年次	後期	講義
自由選択（専門）	経済293	現代社会システム論	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	経済323	公共経済学	2	2～4年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済326	公共政策論	2	2～4年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済333	環境経済評価論	2	2～4年次	後期	講義
自由選択（専門）	経済346	アジア経済論	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	経済349	国際開発論	2	2～4年次	後期	講義
自由選択（専門）	経済362	少子・高齢化の経済学	2	2～4年次	前期/後期	講義
自由選択（専門）	経済372	金融商品論	2	2～4年次	前期	講義
自由選択（専門）	経済374	金融市場と金融システム	2	2～4年次	後期	講義
自由選択（専門）	経済385	労働経済学Ⅱ	2	2～4年次	後期	講義
選択必修（専門）	経済310	計量経済学	4	3～4年次	前期	講義

合計単位数　40

初年次 → 高年次